

公開保育

『遊びは学び』 ～子どもの発達を大切にして～

2025.1.23 実践報告書

1. はじめに

一人ひとりを大切にしながら接していく中で、更なるステップアップを目指していきたいと思い、公開保育を計画致しました。毎日の生活の中にある子どもたちの小さな発見や感動、そして成長・発達の姿を共有し合うことで、子どもたちの成長発達にとって欠かすことのできない場であり、成長の場であることを実感することが出来ました。

2. 各クラスにおける実施概要

(1) 公開保育実施日

令和7年1月23日（木）

9:30	～	公開保育（フリー参観）
10:20	～	公開保育の概要説明と研究協議
11:05	～	鼎談 『架け橋期プログラム構築と、こどもまんなかへの幼保小連携変容』
12:00		閉会

(2) 発表クラスの活動のテーマとねらい及びアドバイザー

・0歳児

テーマ 『であう』～安心から始まる新しい物との出会い～
ねらい 保育教諭と一緒に様々な素材の感触や見た目、音などを五感で感じる

・1歳児

テーマ 『ふれる』～見て、触れて、聞いて、やってみよう～
ねらい 様々なものに触れ、素材の違いや音に関心を持つ

・2歳児

テーマ 『きづく』～五感を使って感触の違いを楽しもう～
ねらい 同じ素材を使い、形状の感触の違いに気づく

・3歳児

テーマ 『やってみたい』～友だちと一緒に工夫したり協力したり～
ねらい 生活の中で経験したこと遊びに取り入れていく

・4歳児

テーマ 『ためす』～様々な光を見つけて遊びに取り入れてみよう～
ねらい 気づきや思いを伝えたり聞き入れたりしながら、様々な遊び方を楽しむ

・5歳児

テーマ 『したしむ』～友だちと一緒に文字や数に触れて遊ぼう～
ねらい 文字や数に親しみを持ちながら楽しむ

(3) 参加者

幼児教育・保育施設関係者 … 19名

小学校・教育委員会関係者 … 9名

合計 28名

3. 公開保育を終えて

(1) 参加者からの感想・意見

・4、5歳児の子たちを中心に様子を見させていただきました。先生方の細やかな準備・配慮のもとで、子どもたちが安心し、主体的に遊んでいる姿が印象的でした。遊びの中にたくさんの学びがちりばめられており、園での遊びの中で、子どもたちは多くの経験を積み重ねてきていることを改めて今日学ぶことができました。実際に保育の様子を見ることで、連携をどう進めていくか、広げていくか、自分にできることは何かなど、考えるきっかけをいただきました。「また遊ぼうねコーナー」の「次の時間もまたできるよ」「休み時間に作っても良いよ」といった発想、声掛けを大切にしたいです。

・それぞれ性格も発達も違う中で、それぞれが遊びこんでいる姿が印象的でした。小学校との接続も視野に入れ、スマールステップを大事にし、チーム保育など経験を大事にするヒントをいただきました。ありがとうございました。

・子どもの「やりたい」が尊重され、それぞれが好きな遊びを発展させていくことができる環境作りがとても心象的でした。また、発達の連続性も各クラスを見学させていただく中で強く感じ、もう一度今できる最善を考えたいと思うきっかけをいただきました。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。

・活動の内容や、素材の移り変わりについてもっと知りたかったです。また、日ごろの保育がどのように行われているかを見ることが出来て、環境構成や子どもたちの主体性を感じられてよかったです。また、素材のバリエーションが今後どのように変わっていくのか、とても興味があるとともに、一緒に語りたいと感じました。

・公開保育お疲れさまでした。子どもたちが楽しく遊び込めるような環境の構成など学ばせていただきました。保育中に質問させていただいて、丁寧におこたえいただきありがとうございました。

・各クラス子どもたちが遊びに夢中になっている姿がみられ、とても印象的でした。3歳児の担任ですが、同じ3歳児でもお店屋さんになる種類が違い子どもたちの発想に改めて感じることができました。先生方の準備もとても勉強になりました。参考にさせていただきます。

・学びがとても多かったです。また、一緒に活動を楽しむことができました。こんなに遊びが広がるんだと勉強になりました。資料や日案もわかりやすかったです。ありがとうございました。

・子どもたちのやりたい、やってみたいを引き出すような先生方の声かけがとてもすてきだなと思いました。子どもたちの声をよく聞き、受け止め子どもたちがとてもいきいきしていたのが印象的でした。ありがとうございました。

・子どもたちが遊びの中で色々なことに気づき、遊びが広がっている姿がみられました。夢中になる子どもたちの姿が印象的でした。見ていてこちらも楽しい気持ちになりました。ありがとうございました。

・年長組の遊びでは、小学校生活や学習につながる力を意識していただいていることがわかって、ありがとうございました。

・子どもたちがみんな笑顔で活動に取り組んでいる姿が印象的でした。先生方の声掛け、環境構成の工夫など学ぶことが多い研修でした。

・子どもたちの意欲や関心を生かし、主体性を育むための環境づくりや支援がすばらしいと感じました。

また、先生方も子どもたちと一緒に楽しんでいる姿がすばらしく、常日頃からのそうした関わりが子どもたちの成長に大きく寄与していると感じました。お忙しい中、大変ありがとうございました。

・とても良い環境や、先生たちの声がけ、とても勉強になりました。明日からの保育にも活かしていきたいと思います。

・未満児さんは安心して過ごす姿がよく見られ、以上児さんからは、主体的な姿、活き活きと遊ぶ姿が見られていて、見ている側も楽しい気持ちになりました。春からの活動の様子や子どもたちの姿が今日につながっていることが子どもたちのあそびの姿から見られ、沢山学ばせて頂きました。架け橋プログラムも小学校ともっと情報共有、交流を深めていきたいと思います。

・大変参考になりました。園に戻り、職員と共有し来年度の活動の参考にさせていただきます。4月から連続した保育、0～5歳児のつながり、感じられました！！

・0歳児から参観させていただいたので、遊び（学び）の積み重ね、保育者の意図、つながりを感じることができました。遊び込んでいる子どもたちがステキでした。

・初めて公開保育に参加させていただきました。実際、生で参観でき、具体的なイメージをもつことができました。本当にありがとうございました。

・「かるた」というルールのある遊びの中では様々なことが起こりそうですが、その分沢山の学びがあることが分かりました。先生の関わりが絶妙で、学びを支えていることを感じました。こういう経験が小学校での様々な活動の土台になっているのだと感じました。

・子ども主体の活動、子どもの意欲を大切にした環境設定、保育者の言葉がけなど…年間での目標、領域、10の姿、3つの視点をしっかり捉えた保育内容が大変勉強になりました。素材を活かした保育材料のアイディアなど、参考にさせて頂きます！

・未満児クラスは、落ち着いて過ごしている様子が見られました。また、安全面に配慮された素材を選び、とても子どもたちが楽しそうにしていました。また、以上児クラスでは、自分の思っていることや、私達の問いかけに自分なりの言葉で伝えてくれる姿が見られました。経験、体験した事を遊びに取り入れている姿も見られていました。5歳児はクラスで過ごしていたが、空間が狭いような感じがしました。

(2) 各クラスの担任から

<0、1歳児クラス>

0歳児

保育教諭との信頼関係が築かれ、安心して過ごせるようになってきました。成長するにつれ、大人の声や身の回りの物の音に興味を持ち始め、お部屋での中から音楽が聞こえてくると、体が自然に揺れ、踊り始めたりとより音に興味がわいてきました。公開保育当日は、手作りのマラカスや太鼓、風船で遊びました。マラカスを鳴らして音を楽しんだり、ぶら下がっている風船を叩いて揺らしてみたり、風船のマットで体いっぱい動かして遊びました。不安になってしまう子にはぴったりと保育教諭が付き、安心して過ごしていました。今後も保育教諭と沢山触れ合いながら、様々なものに触れて感じることを大切にしていきたいと思います。

1歳児

春から様々な感触遊びをしてきました。素材との違いや触り心地を感じたり、一人の遊びを楽しみながら、やがて友だちと遊びを共有したりと関わりが増えてきました。また、成長するにつれ、指先を使った遊びにも興味を持つようになってきました。公開保育当日は、マカロニを使ってポットン落としやモール通し、マカロニに色を付けたり、茹でたマカロニと茹でる前のマカロニの感触の違いを感じたりと思い思いに楽しめるようなコーナー遊びをしました。それぞれが同じ遊びを集中して行

う子が多く、友だちのやっていることを模倣して遊んでいる姿も見られました。今後も周囲への興味・関心を広げながら一人ひとりの成長の手助けをしていければと思います。

<2歳児クラス>

春は、自然の中で見て、触れて、感じたことを保育教諭に身振り手振り伝えたり、見つけた物を使ったりして喜んで遊んでいました。公開保育当日は、遊び込んできた片栗粉を使いコップに自分で片栗粉を入れたり、水を足してみたり、水溶き片栗粉を手でトローッと混ぜたり、プルプルの片栗粉スライムをちぎって遊んだり同じ素材の形状の違いに触れて、友だちと見せ合ったり、言葉で伝え合ったりして友だちと楽しむ姿が見られていました。片栗粉遊びが様々な遊び方に変化し遊び込む姿から、この時期は、目で見る、触れる、匂いをかいでみる、音をきくなどの五感を使った体験を一緒に喜び合ったり、楽しんだり出来るようになる大事な時期だと感じました。一人遊び中心だった子ども達が、成長と共に保育教諭を介して友だちの存在に気付き始め、経験した中で見たこと気づいたことを言葉を使って伝え合ったり、遊び方を模倣したり、気づき感じたことを友だちや保育教諭と共に感し、楽しい、やってみたいと思えるような環境構成や関わりを大切にしていきたいと思います。

<3歳児クラス>

春の頃は、近くに友だちがいても、自分の好きな遊びを見つけて自由に遊ぶ姿が多く見られたので、保育教諭はこどもたちと一緒に遊ぶ中で気持ちを受け止めながら、子ども達の「やってみたい」がもっと広がっていくように環境を構成してきました。

最近は、言葉が発達した事から自分の思いを伝える事が出来るようになり、遊びの中でイメージが重なったことを喜んだり、同じものを作ったりできたもので遊ぶなど友だちとの関わりが深くなってきた子ども達。

ごっこ遊びに使うものを「自分たちで作りたい」という思いを伝えてくるようになり、公開保育当日は子ども達がみんなで作った愛着いっぱいのアイテムを使い、活き活きと目を輝かせて「やってみたい」ことを楽しんでいました。お店屋さんになった子もお客様になった子も、すっかりなりきって遊びこむ姿、また更に「～したらもっと楽しいかも」と友だちと一緒に遊びを発展させていく様子も見られました。

これからも、子どもたちの「やってみたい」「～してみたい」という気持ちを丁寧に受け止めながら、「楽しかったね」「もっとやりたい！」という思いを大切にしていきたいと思います。

<4歳児クラス>

春から自然環境と積極的に関わり、砂や虫に触れたり、体を動かして園庭遊びを楽しんでいた子どもたち。日光が当たるところは温かいことや、日光をたくさん浴びた花や野菜が元気いっぱいに育つことを知り、夏には水遊びを通してプールの水がキラキラと光ることや虹が出ることに気が付きました。秋頃になると、年長児の遊び方や玩具の使い方を真似し始めるようになりました。紙を窓に張り付ける姿を真似ると、絵が裏に透けて写し絵ができる事を知り、遊び方を友だちに教えることで広めようとしていました。また、窓と言っても外が見える窓でないと透けないことや、厚紙や絵本は透けないことに気付きました。光に興味を示し始め、ライトを用意してみると紙やおはじきやビー玉など身の回りの様々な物に透かしてみたり、椅子の下やテーブルの下で光らせた時の見え方の違いや、ライトの個数を変えた時の明るさの違いを楽しんでは、自分の考えや気付きを友だちに共有し、深めようとしていました。

これからも、子どもたちの興味があるものを見逃さず、難しいところは保育教諭が手を添えなが

ら、子どもたちの「知りたい」「試してみたい」という気持ちを大切にしていきたいと思います。

<5歳児クラス>

年長クラスに進級し、期待を胸に目をキラキラ輝かせていた子どもたち。積み木遊びでは自分たちで考えながら遊びを発展していき、数への関心や形の大きさなどへの興味が芽生えていました。夏ごろには文字や数に興味を示し、図鑑に載っている動植物を見つけたり、文字を読んだりしている姿を見て、クラスに紙や図鑑、絵本など文字や数への興味関心がより高まるような環境構成をしてみると、文字や数に親しみ自ら遊びに用いて遊ぶようになりました。次第に文字や数を使った遊びが広がり、友だちから聞いてみたり、お店屋さんごっここのメニューを書いたりと、友だちとの関わりを通してアイディアや工夫することを喜び、想像力を膨らませながら遊ぶようになってきました。また、ごっこ遊びでは生活経験が遊びにつながり、お金を作って遊ぶ姿、お正月の体験からかかるた遊びをしたりと、日々の遊びの中で文字や数に親しみながら楽しんでいる子どもたちです。生活や遊びの中で自然に文字や数字と触れ、子どもたちがそれらを使いながら遊びを生み出そうとする姿、友だちと楽しさを共有しようとする姿に成長を感じる日々でした。

5. まとめと今後の課題

<全体を通して>

令和6年度の公開保育では、「やってみたい！」という子どもたち一人ひとりの思いや意欲を大切にしながら、遊びを通して生まれる発見や感動の瞬間を丁寧に見つめる機会となりました。子どもたちが自分なりに考え、感じたことを表現しながら、友だちとの関わりの中で遊びを広げていく姿からは、日々の保育の積み重ねがゆっくりと育まれてきたを感じることができました。

こうした姿を支えるために、私たち保育者は子どもたちの小さなつぶやきや視線、表情などから伝わってくる気持ちに丁寧に寄り添い、心の動きを受け止めながら、その子らしさが發揮される環境や関わりを整えていくことの大切さを改めて実感しました。また、共通の素材や空間を通して生まれる異年齢の関わりや、クラスを越えた遊びのつながりから、子ども同士が自然に学び合っていく力に気づかされる場面も多くありました。

その一方で、子どもたちの姿をより深く受け止めていくためには、私たち自身が日々の中で少しづつ「気づく力」や「感じ取る視点」を育んでいくことが大切だと感じています。子どもの行動の背景にある思いや願いに目を向けながら、保育者同士で思いを語り合い、共に考えていく時間を重ねていくことが、よりよい保育につながっていくように思います。

今後も、園内での学びの時間を大切にしながら、外部の専門家の方々からの学びも取り入れて、一人ひとりの保育者の視野が少しづつ広がっていけるようにしたいと考えています。そして、子どもたちの思いに丁寧に寄り添い、「何をするか」ではなく、「何に心が動いているのか」「どんなことをしてみたいと感じているのか」という思いに共感しながら、その芽を温かく見守り、育んでいくような保育をこれからも大切にしていきたいと思います。

子どもたちの育ちは、日々の生活の中でのささやかな気づきや挑戦の積み重ねから生まれます。そのひとつひとつに丁寧に向き合いながら、保護者や地域の方々と手を取り合い、子どもたちの豊かな育ちを共に支えていける園づくりを目指してまいります。

令和6年度 公開保育 評価表
社会福祉法人みつは会 認定こども園みどりのかぜエデュカーレ

評価段階 5…大変良い 4…良い 3…普通 2…一部検討を要する 1…改善を要する

項目	評価					
	5	4	3	2	1	その他
1 資料（春からの様子）から、本日の活動との連続性は感じられましたか。	16	5				
2 園児は主体性を持ち、自分のやりたい、やってみたい活動に十分遊び込んでいましたか。	19	2				
3 園児は友達や保育者との関わりを楽しんでいましたか。	19	2				
4 保育者は子どもの思いを意識して気持ちに寄り添い、援助していましたか。	18	3				
5 保育者の園児への言葉掛けや接し方は適切でしたか。	18	3				
6 保育室は、教育・保育のしやすい環境の構成がされていましたか。	16	5	1			
7 園内外の環境や遊具、素材等は危険がないように安全面に配慮されましたか。	12	8				
8 公開保育・研究会に参加し、興味を持ったことや今後に生かしていきたい内容はありましたか。	17	4				

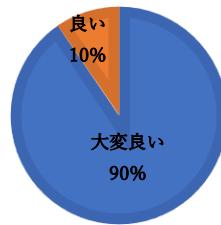
1. 資料（春からの様子）から、本日の活動との連続性は感じられましたか。



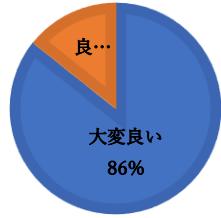
2. 園児は主体性を持ち、自らやりたい、やってみたい活動に十分遊び込んでいましたか。



3. 園児は友達や保育者との関わりを楽しんでいましたか。



4. 保育者は子どもの思いを意識して気持ちに寄り添い、援助していましたか。



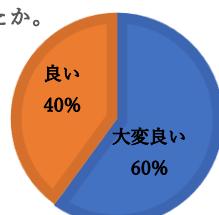
5. 保育者の園児への言葉掛けや接し方は適切でしたか。



6. 保育室は、教育・保育のしやすい環境の構成がされていましたか。



7. 園内外の環境や遊具、素材等は危険がないように安全面に配慮されましたか。



8. 公開保育・研究会に参加し、興味を持ったことや今後に生かしていきたい内容はありましたか。

